

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課	■担当係	環境エネルギー係
■評価事業名称	住宅用おひさまパワー活用設備設置補助金		
■事業開始年度	平成29年度		
■評価事業コード	030200 - 229	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	01 地球環境保全の推進	
	■施策	03 地球温暖化防止対策の推進	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	電気事業特別会計の収益を活用して、市民への再生可能エネルギーの普及や地球温暖化における二酸化炭素の排出削減を図るため、市民が太陽光発電・熱利用設備を導入する際に補助を行うもの。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	住宅用おひさまパワー活用設備設置補助金	市民	住宅向けの太陽光発電システム、太陽熱利用システムの設備導入補助金	北上市住宅用おひさまパワー活用設備設置費補助金 要綱制定 4/27 広報きたかみ 5/13お知らせ号掲載 北上市住宅用おひさまパワー活用設備設置費補助金説明会 7/4実施 参加者 17名北上ケーブルテレビ 情報チャンネル掲載10/16～10/21 行政情報モニター掲載11/1～11/30 申請3件 交付額421千円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費				426	
人件費				2,976	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				3,402	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	申請者数				3件	太陽光パネルを設置し(既築住宅)補助金申請した人数

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

平成29年度申請 太陽光3件 交付額421,000円

問題点・課題等

当初は既築住宅への太陽光発電と、太陽熱利用への補助、として制定したが、屋根の補強へのコストがより高いこと、固定買取価格の低下などにより申請が広がらなかった。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

これまで対象外であった新築住宅への太陽光発電を補助対象に加え、より広く再生可能エネルギーの普及促進に努める。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了